

葉山町町議会議長 土佐洋子様

一色平松地番 1262-42 町有地から湧き出る大量の地下水、湧水に関する陳情書

### 1. 陳情の趣旨

環境課所管の傾斜部の土砂が地下水の流れによって大量に削られ谷のようになった部分（添付写真1）に昨年8月に草木の種を含んだ土嚢を置くという応急処置を町指導のもと隣接する開発予定地、平松1309-1の事業者、日建都市開発が実施しました。しかし残念ながら、今もなお同じ部分から水が大量に溢れ続けています。（添付動画1, 2, 3参照）以前から幾度となく上がっている近隣住民達の切実な声、町議会でも幾度となく議論されている一色平松の大量の湧水、地下水の本格的な対策処置、また防災対策の早急な対応を求めます。地下水について、町が早急に有効な対策を講じるよう、町議会のご理解と後押しをお願いします。

### 2. 陳情理由

2021年10月から行われた開発工事による森林伐採前にはこの傾斜部からは水は大量に出ていませんでしたし土砂も削られていませんでした。この数年間でこの傾斜地が急変したことは明白です。2022年9月の2日間続いた大雨後、町道の横が崩れて以来、一帯が再びいつ崩れるか怯えながら近隣住民は日々暮らしています。

また応急処置で設置された土嚢から草木は1本も生えておらず、草木で土壌を安定させる計画は実現せず、現状では土嚢の下から水が湧き出ている、水の道も変わっている状態が続いています。（添付動画1, 2, 3参照）

汚水処理場使用廃止後の土地利用について現在予定はないという説明を昨年末の町による公共下水道工事説明会で伝えられましたが、処理場の方面の水、水を含んで綿のように柔らかくなった土壌の対応は町民の安全確保のため、早急に行うべきです。

50数年前、山上から存在した水路（添付図面1, 2, 3参照）の水を地下の排水管で処理することに変更し、元水路部分は町道として使用してきましたが、現在その排水システムが充分機能していないため以前の水路のような水流が再び現れている事は明白です。（添付写真2, 3, 4）地下水が目に見えて湧き出す箇所の応急処置のみでなく根本的な問題と対策を町として 危機感を持ち検証するべき時です。現在未定の処理場跡地土地計画利用とは別に真剣に考えていただきたく陳情いたします。

さらに下のなんてん公園から町道にそっての大雨後の水の流れは通学の子供達や通行人にとって大変危険ですし、その近辺の住民にとって大きな安全問題です。

15

私達は湧水、地下水の水流を止めることが解決方法とは考えていません、現状の垂れ流しはやめて安全で確実な排水方法を町として早急に責任を持って取り組み、実施してください。葉山町議会におかれましては、この陳情内容をご理解いただき、一色平松一帯の安全環境を整えることにご支援お願いいたします。

令和8年 2月 2日  
住所 葉山町一色 1293-7

(代表者)氏名 角南薫 角南薫  
角南佑記子  
葉山町一色 角南佑記子  
1293-7

